

垂水史談会報

第46号
2022(令和4)年
8月発行

【研究ノート】

ひとぼし(火灯し)

新原清実

夜、ヘッドライトの明かりを頼りに股下まで磯の海水に浸かり、タコやアラカブ(カサゴ)などをモリで突く「ひとぼし」(地域によってはよとぼし「夜灯し」とも呼ばれる)。ひとぼしの名前の由来は火灯しからといわれているが、火灯しとあるように昔は火の灯かりで魚を突いていた。

曾祖父の故下瀬松男(中侯)は、松の根を削りそれを束ねてたいまつ(松明)にしていたようである。松の根には樹脂のマツヤニがよく含まれているのだが、それが長時間よく燃える。その自作したたいまつを片手に持ち、夜の荒崎の磯で魚などを採っていた、と松男の娘の下瀬弘子は語る。



松男が魚を突く傍ら、弘子は、岩に生えている岩海苔(赤海苔)を竹でこそぎ落として集めたり、テングサ(天草)を採ったという。採ってきた岩海苔は洗って薄く広げ乾燥させ、海苔巻き用の海苔を作ったり、テングサではところてんを作ったりした。

祖父の泰男の時代になるとカーバイトランプが照明器具として一般的に用いられるようになる。カーバイトランプは石状の炭化カルシウムを水と反応させ、発生したアセチレンガスを燃焼させて灯す照明器具である。現在ではあまり見かけなくなったカーバイトランプだが、ひとぼし以外にも日常的に使われ、今宮神社の六月灯の屋台では、イカ焼きの香りと合わさったカーバイトランプの独特な匂いが一つの風物詩であったと弘子は懐かしむ。

また大叔父の瀬角健一郎によると、カーバイトはスズメ脅しにも使用されたそう。孟宗竹の根本付近を六十センチ程に切り、底以外の節をくり抜き、底の節から二センチ程上にキリで小さな穴を空ける。そして、ハンマーで適当な大きさに砕いたカーバイトを竹筒の中に入れる。竹の底に転がっているカーバイトに水を流し込みガスを発生させ、空けた小さな穴に火を近づけるとガスに引火して強烈な爆音が鳴り響く。その凄まじい音で、稲に群がるスズメを追い払っていたようである。使ったカーバイトは竹から取り出し乾燥させ再利用した。

カーバイトランプはひとぼしで用いられていたが、強風により火が消える欠点があった。そして、マッチで再点火するにも、そのマッチが海水に濡れたりして使えなくなることもしばしばあった。

そこで健一郎や伯父の下瀬秀



はバッテリーを背負い電球を灯す試みを行う。これは、車のバッテリーを使用した照明器具で、船用電球とバッテリーを提灯コードで接続し手持ち部分に電源スイッチを取り付けた、手作りの製作品である。これなら、いかなる強風であろうとも明かりを消すことはない。最初は健一郎達のみが使っていたが、その利便性によって、瞬く間にひとぼし仲間の間に広がったそうだ。



現在は電化製品が著しい発展を遂げ、ヘッドライトを頭に着け、生まれ育った大地の自然の恵みに感謝しながら海の幸を採る。

読者の中には興味を湧き、夜の海に駆り出したいと思う者がいるかも知れぬが、夜の海は視界が悪く、危険が多いため安易に近寄ってはいけない。健一郎はひとぼしで転倒した時のケガで、今でも片手の小指はまっすぐに伸びない。ひとぼしに行く人達は、身近にある海が生活の一部で、海の脅威を理解している者である。

【垂水市史料集(一)】より

西南之役 私学校生徒の従軍譚 ②

—立山健氏への聞き書き— (山口栄之 筆記)

従軍譚について

これは垂水の郷土史研究の第一人者である故山口栄之氏が《西南戦争終結五十年》を機に昭和3年、十年戦役(明治十年の西南戦争)従軍者の話を集めて書かれたものである。特に中心をなしている立山健氏は十五歳で従軍され、戦いの当初より田原坂、豊後路、可愛嶽突破、城山陥落まで従軍されていて話も確としたものがあり、転戦の経路もよく分かる。附録の地図は同氏の転戦記録を图示したものである。立山氏は下宮方限の出身である。

鹿児島着

垂水の船は十時ごろ出帆して夜半過ぎに鹿児島に着き、直ちに宿屋に上がったのである。宿屋は最初は堀の面の辺りであったが、翌日石灯籠通りに変わり、更にまた黒木殿屋敷(今の本願寺のところ)に移った。この時までは町の人や在の人なども夫卒として連れて来られていて、その人たちが賄いなどしてくれていたけれども、夫卒は鹿児島からの志願者が多かったため、田舎から連れてきたのは帰されることとなった。ところがみんな大喜びであった。しかし、中には非常に憤慨して強いて従軍を請う者もあったが、やはり出発に際して皆帰された。

隊編成

その翌日(新二月十三日)、御殿の下の旧練兵場(今の県庁の辺りから造士館の堀の端の第一帯草原)で隊の編成があった。それから毎日交代で番兵に出ることとなった。自分が属する隊は五番大隊の七中隊で、清水、颯娃、川辺、谷山、出水、種子島、鹿児島及び垂水の人たちで混成されたものであった。隊長は平

